

带状疱疹ワクチンについて

接種希望の方は**予約が必要**となりますのでスタッフにお申し出ください。ワクチンには2種類ありますので、以下ご一読いただきどちらかを決めて予約願います。よくわからない方は診察時に医師にご相談ください。なお、はがきは持参いただく必要はありません。無料接種の方以外は書類不要です。

Q. 带状疱疹とは？

幼少時に罹患した水痘ウィルスが免疫低下に伴い再活性化されて発症します。50歳から80歳の間には大体3人に1人、1年単位では100人に1人が発症するといわれており、水疱やピリピリした痛みを伴った皮疹が体の一部にできます。約1か月で症状は軽快しますが、発症者の1～2割は神経痛などの後遺症が長く残ることがあります。

Q. 带状疱疹ワクチンにはどのような種類がありますか？

带状疱疹ワクチンには生ワクチン（弱毒化したウィルス）とシングリックスというウィルスの一部を強い免疫反応が出るように加工したものの2種類があります。生ワクチンは少し発赤する程度で強い副反応はありませんが、シングリックスは注射部位のはれや強い痛みに加えて約6割の人に発熱や頭痛といった全身症状がみられます。ただ、効果は生ワクチンが約6割の方に発症予防が期待できる（70歳以上は4割以下になる）のに対してシングリックスは9割以上の予防効果があるとされています。どちらも接種後発症した場合でも重症化予防の効果はあります。絶対かかりたくない方はシングリックス、副作用が怖い方は生ワクチンがおすすめです。

Q. 带状疱疹ワクチンを打てない方はありますか？

ステロイドや抗がん剤といった免疫を抑える治療を受けておられる方は原則接種ができません。ほかのワクチン接種後、1か月間隔をあけてください。

Q. 一度带状疱疹にかかりましたが、ワクチンを打つ必要がありますか？

確率は低くなりますが、3～11年後に再発することがありワクチン接種は有効です。罹患後2～3年あけて接種するのが良いでしょう。

Q. 再接種は必要ですか？

生ワクチンは5～10年で効果がなくなります。長期のデータはありませんが、シングリックスは少なくとも生ワクチンの約2倍の有効期間があります。再接種はすべて自費となるのでご注意ください。

Q. 価格はどうなっていますか？

年度内に65歳、70歳、75歳など切りのいい年齢になる方は今年度（3月末まで）、公的扶助を受けられます（はがきが送付されます）。生ワクチンは1回接種のみで自費の方は9000円、補助が出る方は自己負担4500円。シングリックスは自費の方は1回22000円、補助が出る方は1回11000円ですが、2～6か月の間隔をあけて2回打つ必要があります。市民税非課税、生活保

護など過去ワクチン無料となっていた方で上記該当年齢の方は今回も自己負担なしで接種を受けられますが、書類が必要となる場合がありますのでスタッフにお尋ねください。なお、助成が受けられるのは生涯に一度で再接種は有料となります。

	自費の方, 再接種(過去に接種を受けたことのある方)	公費扶助あり (65歳、70歳など 該当年齢の方)	無料接種(65歳、70歳など 該当年齢かつ市民税非 課税・生活保護)
生ワクチン	9000円	4500円	0円
シングリックス	44000円 (22000円 X 2回分)	22000円 (11000円 X 2回分)	0円